

2026年度

事業計画書

事業所・委員会名

デイサービスセンター
しおかぜお台場

策定者

施設長 原 浩文

1. 2030年度ビジョン

法人共通	モラル・教養・技術を兼ね備えた職業人集団（プロフェッショナル）となり、地域から最も信頼される福祉ブランドを確立する
事業所	職員はコンシェルジュ（行動させる・見守る・話し相手になる）として寄り添い、細やかな接遇を提供できるようになり、施設は専門的な機能訓練、リラクゼーション、また楽しく過ごせる時間を利用者自身が自由に選ぶことができる環境を提供することで、利用される方の望みを実現する事業所となる。

作成上の注意) 聞いた人が中身をイメージできること、これをユニットや職種やクラスなどチーム単位に分解する想定。

2. 前年度の振り返り

強み・得意／弱み・問題	地域との関わり。自由なメニュー。個別対応できる / 業務がルーティンになってきており自分で考えて新しい行動ができていない。話しができる関係をもっと深めることが必要
機会・ニーズ／脅威・競合	介護保険施設らしくないデイとしての認知・知名度。地域のサロン等に関する事で参加者が安定的に存在する。 / コンセプト型デイサービス（短時間対応含む）

作成上の注意) 聞いた人が中身をイメージできること、1行にまとめてもOK

3. 当年度の戦略目標

戦略の柱	現状（ビジョンに対する課題・問題点）	成果目標（事業所の定量目標）	行動項目（項目4に分解する）
(1) 組織風土変革 ・規則等理解、ABCDの状況 ・関係の質の状況 ・言葉づかい、服装、マナーの状況 ・職員同士の協力体制の状況	・お友達対応のような声かけがある。 ・現状のサービスの改善はできているが、新しいサービス、目新しさをあまり提供できていない。	・利用者に敬意をもってきれいな接客ができる。良い関係の継続 ・マンネリの解消	・接客研修を6ヶ月に1回以上実施 ・職員同士の自己チェックの実施 ・新規メニュー3か月に1回考案し実施 ・メニュー開発のための研修の実施
(2) 人材育成 ・職員の資格保有の状況 ・職員の常識・業務知識・技術の状況 ・現場のOJT体制の状況 ・職員のモチベーションの状況	・資格保有者は充足している ・利用者への相談に対して運動機能の知識を持った職員が不足 ・関わり部分は職員の資質に依存。	・全員が身体機能、運動知識を持てる。 ・皆が話し相手になれる関係づくり	・PTの外部研修への参加（オンライン研修含） ・機能訓練の内部研修の定期実施3か月に1回 ・雑談力の向上。会話トレーニングの実施
(3) サービス品質向上 ・サービス提供時間の状況 ・業務効率化、標準化の状況 ・利用者やご家族の満足度の状況 ・苦情や事故、その対応の状況	・利用者増加にて事務作業が増加 ・直接対応の時間の減少	・事務作業の洗い出しをし、時間を削減 ・コンシェルジュ対応のできる人員の育成 ・適切な職員配置 ・直接サービス時間の確保	・文書等業務簡素化・ICTの導入 ・人材・業務の分担 ・職員が固まらないように配置の見直し ・生産性向上委員会 ・OJTチェックシートの作成
(4) 経営基盤強化 ・事業収支の状況 ・稼働率の状況 ・施設・設備の状況 ・事業所固有のリスクの状況	・ボーナス分がマイナス、通常月は+10~20 ・稼働率は64%（R7.12） ・送迎車の検討（介護相談と兼用）	・人件費分の確保 ・通年稼働率の向上（休む人を減らす）	・行事・イベントの実施。年5回 ・事前に行事・イベントの周知
(5) 地域支援強化 ・法人地域支援活動への参加の状況 ・地域住民からの認知度の状況 ・拠点独自の支援活動の状況	・地域活動には主体的に対応している ・地域活動の拠点になっている。	・地域の体操、行事等今後も全員参加 ・今後も地域支援の拠点であり続ける	・全員の地域支援事業への参加継続

作成上の注意) 文章にしない、箇条書きにする、数値化する、主語（何、誰など）を明確にする

事業所内標語

スローガン	コンシェルジュとして「～いかがですか？」作戦
-------	------------------------

事業所の職員全員で取り組むものを、わかりやすいことばで表せるならグッドです！

4. 年間行動スケジュール

	戦略行動項目 (前掲項目3との関係をカッコ記載)	定例業務	法定研修・訓練 (参加者、人数、立合有無等をカッコ記載)
4月	業務の洗い出し (3) OJTチェックシートの作成 (3) 利用者へ年間計画の発表 (4)	花見外出	避難訓練 (介護相談と合同) 新メニュー研修 (全員)
5月	言葉遣いをお互い点検 (1) 新メニュー考案(1)	下津井町歩き	接客研修 (全員) PT外部研修 (伊藤)
6月	機能訓練研修 (2) ICTの活用、ケアプランデータ連携システムの活用 (3)	日帰り旅行	外部研修FB研修 (全員) 生産性向上委員会 (全員)
7月	地域祭りの参加 (5) 適切な配置の再確認 (3)	七夕かざり	感染症委員会 (全員)
8月	新メニュー考案(1)	かき氷	PT外部研修 (伊藤)
9月	利用者アンケート実施 (サービス品質向上) 機能訓練研修 (2)	敬老会	避難訓練 (介護相談と合同) 外部研修FB研修 (全員)
10月	言葉遣いのお互い点検 (1)	街歩き	
11月	地域祭りの参加 (5) 機能訓練研修 (2)	茶話会	PT外部研修 (伊藤) 外部研修FB研修 (全員)
12月	新メニュー考案 (1)	正月飾り作り 感染対策委員会	BCP研修と訓練 (感染症・災害) 虐待対策 高齢者の人権 入浴 に関する勉強会 (全員)
1月	雑談・会話トレーニング (2)	おしるこ振る舞い 由加山等初詣	接客研修 (全員)
2月	新メニュー考案 (1) 機能訓練研修 (2)	豆まき	PT外部研修 (伊藤) 外部研修FB研修 (全員)
3月	業務の洗い出し (3)	ドライブ	生産性向上委員会 (全員)

作成上の注意) 文章にしない、箇条書きにする、数値化する、主語 (何、誰など) を明確にする

5. 当年度の収支計数・前提条件

収支計数		前提条件	
目標事業活動収入	40,119千円	施設定員	40人
目標稼働率	75.00%	平均利用者数 (年間営業日数平均)	30.2人
事業活動支予算額	36,738千円	単位/1利用者あたり収入	5,075円
目標事業活動資金収支差額	3,381千円		
稼働率: 入所・デイ・保育: 期間中延べ利用者数 ÷ (営業日数 × 1日の利用定員)		重点加算 (=事業所サービスの特徴)	機能訓練加算 I イ
訪問: 期間中サービス提供時間数 ÷ 期間中勤務延べ時間数			
単位: 1営業日あたりの数値		自事業所の戦略人材とは?	丁寧に優しさが発揮できる人材